

## 朝会時のお話

令和2年7月6日

みなさん、こんにちは。6年生『最近、天気が荒れています。体調に気を付けましょう。』『最近天候の変化が激しいです。雨具等を用意して、天候の変化に対応できるようにしましょう。』6年生ありがとう。

一斉登校から一週間が経ちました。生活のリズムは整ってきたでしょうか。お友達と遊べていますか。コロナウィルス感染症の予防はまだまだ手を抜くことはできませんが、少しずつ元の生活に戻りつつありますね。まずは今月いっぱい頑張っていきましょう。その先は夏休みです。今年の夏休みは23日間です。あっという間に終わりそうですね。夏休みのことも含めて計画的に過ごしていきましょう。

今日のお話は将棋のことです。高校生棋士の藤井聡太7段が史上最年少でのタイトル獲得に王手をかけました。藤井聡太7段は小学6年生で名人、中学3年生14歳で4段に昇段しプロになりました。そして、今、タイトルのうちの一つ『第61期王位戦7番勝負』予選を全勝し、王位戦の挑戦権を獲得して戦っています。7月1, 2日に30歳年上の木村一基王位と7番勝負2日制の第一局を行い、なんと勝ちました。次の第2局が始まるのは13日です。先に4勝した方が勝ちとなり王位になるのです。接戦で7番まで行くと9月29日まで戦うことになります。それと同時に、もう一つのタイトル『第91期ヒューリック杯棋聖戦』で挑戦者となり、タイトル挑戦の最年少記録を更新しました。渡辺 明棋聖と5番勝負で現在2連勝しています。第3局は7月9日に行われます。もしどちらか藤井聡太7段が勝つと屋敷伸之9段の保持するタイトル獲得の最年少記録を塗り替えることとなります。高校生棋士が頑張っています。楽しみです。ニュースを気にして見ていましょう。